ナルク
NALC
特定非営利活動法人
ニッポン・アクティブライフ・クラブ
事務局:大阪市中央区常盤町2-1-8MIRO谷町4階 〒540-0028
電話06-6941-5448（代表）　FAX06-6941-5130
ホームページ http://nalc.jp
Eメール編集室･･･kaiho@nalc.jp
毎月1回
10日発行

魚の天日干し　写真・隈井九州男

20周年行事まであと5か月

各拠点着々準備！ 参加者1000名超えるか

ナルク創設20周年の各記念行事は来年5月25日から3日間にわたり、仙台市を中心に展開される。本部では今年5月と10月に、各拠点の20周年への取り組みを把握すべく、2回の調査を行った。その結果、1100人を超す参加者が見込まれることが判明、まずは明るい展望をもって各準備は進められている。今回は単に20周年という節目の催しではなく、「震災復興支援」というメーンの目的がある。参加各位は総会・交流会だけでなく、前後の25、27の両日にも重点を置いて予定を組んでいただきたい。9月2日に東京で行われた現地各拠点と本部との調整会議、及び10月の調査を踏まえ、現在までに明確化している進行状況を初日の行事から時系列でお伝えし、参加各位の参考に供したい。

【25日（日）】

被災地支援活動

今回の調査の結果、25日に予定している宮城での仮設住宅の支援活動は300名を超える申し込みがあり、大挙して訪問するのは無理と判断し、浪江町を含む福島の3カ所の仮設に対し支援活動を行うことに変更しました。

このほか「植樹」、「慰霊碑巡礼ウオーク」などを検討しています。「植樹」は今年度のナルクの植樹活動を震災復興に役立てる方向で検討中です。「慰霊碑巡り」は、15周年のウオーク隊のメンバーを中心に検討中なので、決まり次第お知らせします。こちらにもぜひ参加してください。

【26日（月）】

Ⅰ定時総会・全国代表者会議

仙台駅から徒歩15分の電力ホール（仙台市青葉区1番町3-7-1）で、9時30分から開かれます。

例年通り提案された議案の審議が中心になります。傍聴可能ですので多数ご参加ください。

Ⅱシンポジウム

会場は総会と同じ電力ホール。開始時刻は11時45分です。昼食＝自席で弁当（要・事前申し込み）

司会＝田邉副会長

①基調講演

講師＝堀田力顧問

演題＝被災地における地域包括ケア

講演要旨

「そうでなくても人口が減少していく地域で、最後まで自宅で暮らせる医療や介護、生活支援のサービスができるのだろうか。まだできる可能性があるとはいえ、行政のタテ割り、医療や介護の事業者の消極的姿勢などを打ち破って実現させるほどの力が、住民には残っているだろうか」

②活動拠点報告

中標津拠点　山崎弘代表

宮城拠点　林茂代表

③パネルディスカッション

「被災地で高齢化社会を考える」

コーディネーター＝高畑敬一会長

プレゼン要旨

「少子高齢化が進みつつある現在、地域包括ケアを中心に、ナルクなどのボランティア団体は何をすれば良いのか。孤独死対策、子育て支援、成年後見、介護保険のインフォーマルサービスなど、地域の支え合いの絆を求めていくことが、被災地の復興にもつながるのではないか」

電力ホールの客席から舞台を見る

4人のパネラーに、被災地の実態とニーズ、復興のポイント、社会保障や日本経済の行方などを語っていただきます。

「パネラー」

仮設住宅　居住自治会長

「仮設住宅の実情とニーズについて」

（要旨）

「仮設住宅居住者の生活実態と不安。今何を求めているのか。PTSD、トラウマ、生活不活発病の実情。今後、どのような町づくりをすれば良いのか」

河北新報社編集委員

寺島英弥氏

「被災地を訪問して」

（要旨）

「地元の立場から、3年経っても復興の見通しが立っていない実態を中心に発表し、何が問題か、どこにポイントがあるのか、メディアと現場がどうつながって、何を発信し、全国民の意識をいかに盛り上げるべきなのか」

読売新聞東京本社

社会保障部次長

猪熊洋子氏

「社会保障改革のゆくえ」

（要旨）

「団塊世代の高齢化が進むなか、日本の社会保障制度は超高齢社会に合った改革が求められている。高齢世代も若者世代も、誰もが安心して暮らせる社会を築くにはどうすれば良いのか」

日経CNBC

経済解説副委員長

豊嶋広氏

「日本経済のゆくえ」

（要旨）

「アベノミクスで回復に向かうと見られる日本経済だが、高齢化社会、人口減少が進む中で、安定的な成長軌道に戻れるのかは予断を許さない。世界最悪レベルの財政状態も鑑み、民主導の自律的な活動の重要性は一段と増す。東北復興の財政基盤は・・・」

パネラーの発言後、討論を行い、コメンテーター・堀田力氏が結びのコメントを発表します。

Ⅲ交流会

シンポジウムに続いて、3時15分から電力ホールで、仮設住宅にお住まいの皆さんもお迎えして行われます。

民謡、コーラス、踊り、朗読などです。既に出演団体は決定しております。

Ⅳ記念パーティー

電力ホールから徒歩15分の「ホテルメトロポリタン仙台」で18時から始めます。既に600名ぐらいの申し込みがありますので、立食になります（壁際に椅子を配置）。参加費は6000円です。

【27日（火）】

被災地訪問

1日コースと半日コースを設定します。

宮城拠点の皆様のお世話で、1日コースは8時半から15時半までの7時間をかけて、大川小学校、女川町、石巻市などを回ります。

半日コースは9時に出発して、荒浜、名取などを回り、12時に帰ってきます。どちらも発着場所は仙台駅です。

（以上）

仙台市内の伊達政宗公の銅像

20周年記念行事予定表

5月25日（日）	5月26日（月）	5月27日（火）
被災地支援活動 12：00～17：00 福島地区で実施 ＪＲ福島駅集合 浪江町視察 拠点名産など手土産品は宮城へは持参しない 慰霊碑巡り　植樹 慰霊碑を巡って仙台に入るウォークを検討中 福島の名産品や農産物の定期購入活動は継続	総会・全国代表者会議 9：30～11：00 於・電力ホール（傍聴可） シンポジウム 11：45～15：00 （1）基調講演　堀田力氏 （2）活動拠点報告 宮城拠点　中標津拠点 （3）パネルディスカッション 交流会 15：15～17：30 民謡、コーラスなど 仮設住民とナルクの交流会 記念パーティー（立食） 18：00～20：30　（6000円） ホテルメトロポリタン仙台	被災地の訪問 1日コース 8：30～15：30 大川小学校　女川町 石巻市ほか 半日コース 9：00～12：00 荒浜　名取 両コースともＪＲ仙台駅集合

喜々快々

近頃、電車やバスの中で座席を譲られる機会が多くなった。譲ってくれるのは中高生の男女。好意を無にしてはと、素直に座ることにしているが、「そんなに老けて見えるのか」と内心忸怩たる思いがする▼家に帰り、鏡に向かってみるが、顔の色はツヤツヤして、シワもそんなに増えたとは思えない。ただ、老人らしい雰囲気が気付かないうちに出ているのかも。以後、胸を張り、足取り軽く歩くように心がけている▼一部の若者が引き起こした悪質な事件だけを見て、近頃の若者はなっていない、と嘆く人が多いが、どうしてどうして、大多数の若者は「良いところ」をたくさん持っている▼不易流行という言葉は、時の流れに沿って変えていく部分と、変えてはならない部分に分かれるが、何を変えるかは難しい。「木を見て森を見ない」人の主張が最もこわい。ナルクでも「もうこんなことは旧い、変えねば」と軽々しく発言されては困る。そんな思いを強めている昨今である。

（高畑敬一）